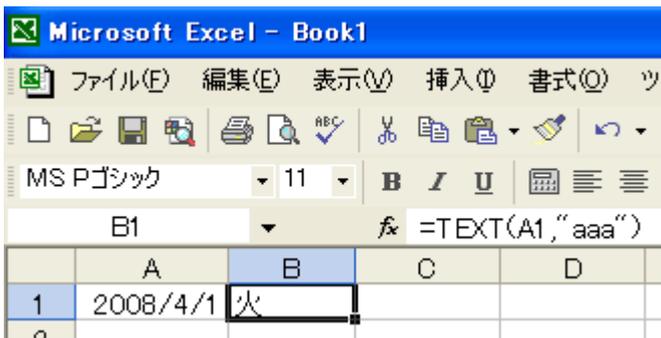




Excel 日付から曜日を自動表示

入力した日付が何曜日なのかを表示させたいときは「TEXT 関数」を使います。
たとえば「A1」というセルに「2008/4/1」と入力したときその隣のセル「B1」に
=TEXT(A1,"aaa")
と入力すると「B1」には「火」と表示されます。

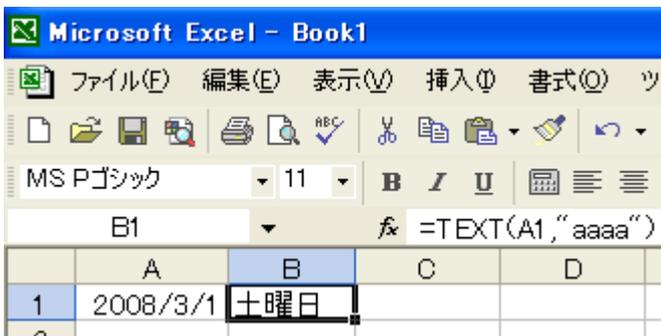


セル「A1」に入力した日付を変えて、カレンダーで曜日が正しいか確認してみましょう。

A1	=TEXT(A1,"aaa")
2008/3/1	土
2008/4/1	火

ここで面白いのは「"aaa"」の部分で表示される曜日の「形式」が設定できるのですが、以下のように形式を変えることができます。

- aaa → 月、火、水...
- aaaa → 月曜日、火曜日、水曜日...
- (aaa) → (月)、(火)、(水)...
- ddd → Mon、Tue、Wed...
- dddd → Monday、Tuesday、Wednesday...



ここまで知っておけば「日付」を入力したセルの横に、その「日付」が何曜日になるのか自動で表示できる表を作ることができるはずです。